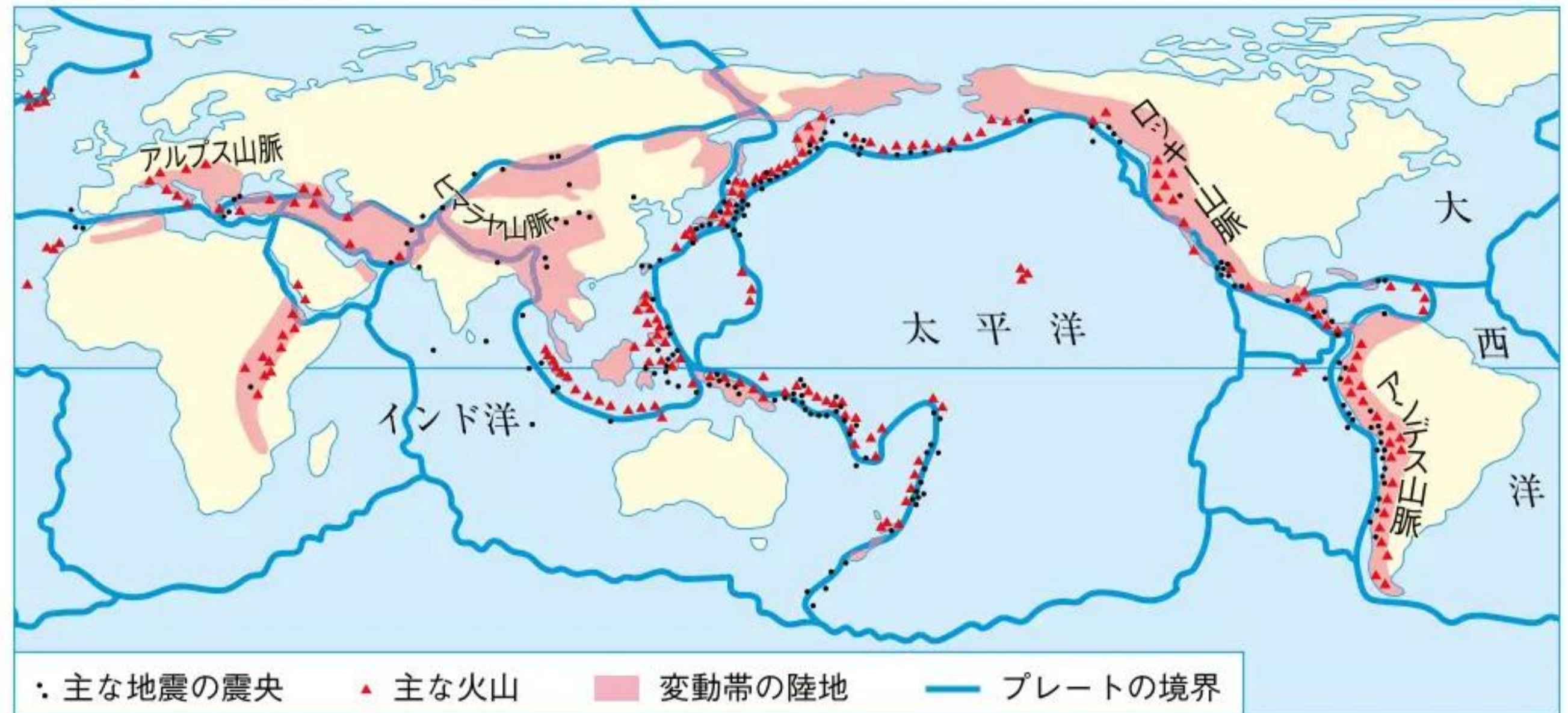


2 日本の地域的特色①

1 日本の山地・山脈

(1) **変動帯**…土地の盛り上がりや沈みこみが活発な場所を**変動帯**という。変動帯は**プレート**がぶつかったり、ずれたりする所にある。プレートの境界付近は地震が多く、地下深くに**マグマ**があるため火山活動が活発。日本は世界的にも地震が多く、火山活動が活発である。

◆主な火山と地震の震央の分布



(2) **山地**…日本の陸地の約75%が山地で、国土の多くは山がち。日本列島には背骨のように**山地・山脈**が連なり、中央部には3000m級の険しい山々からなる**日本アルプス**（**飛驒山脈**・**木曾山脈**・**赤石山脈**）がある。その東側には**フォッサマグナ**があり、これを境に、山地・山脈は東側ではほぼ南北方向、西側ではほぼ東西方向に連なる。

2 日本の川・平地・海岸・海洋

(1) **川と平地**…川が、山々から流れ出して土砂を運び、各地に**平野**や**盆地**を形成した。

- ① **扇状地**…川が山間部から平野や盆地に流れ出る所にみられる。果樹園などに利用。
- ② **三角州**…川の河口部にみられる。古くから水田に、近年は住宅地としても利用。

◆扇状地



◆三角州



③ **台地**…川や海沿いの平地よりも一段高い土地。畑や茶畑、住宅地として利用。

(2) **海岸**…小さな岬と湾が入り組んだ**リアス海岸**や、長い砂浜が続く**砂浜海岸**、**サンゴ礁**に囲まれた海岸などがみられる。

(3) **海洋**…近海には浅くて平らな**大陸棚**、太平洋側には深い**海溝**。**暖流**の**黒潮**（**日本海流**）と**対馬海流**、**寒流**の**親潮**（**千島海流**）などの**海流**が流れ、黒潮と親潮がぶつかる海域は好漁場の**潮目**（**潮境**）となっている。

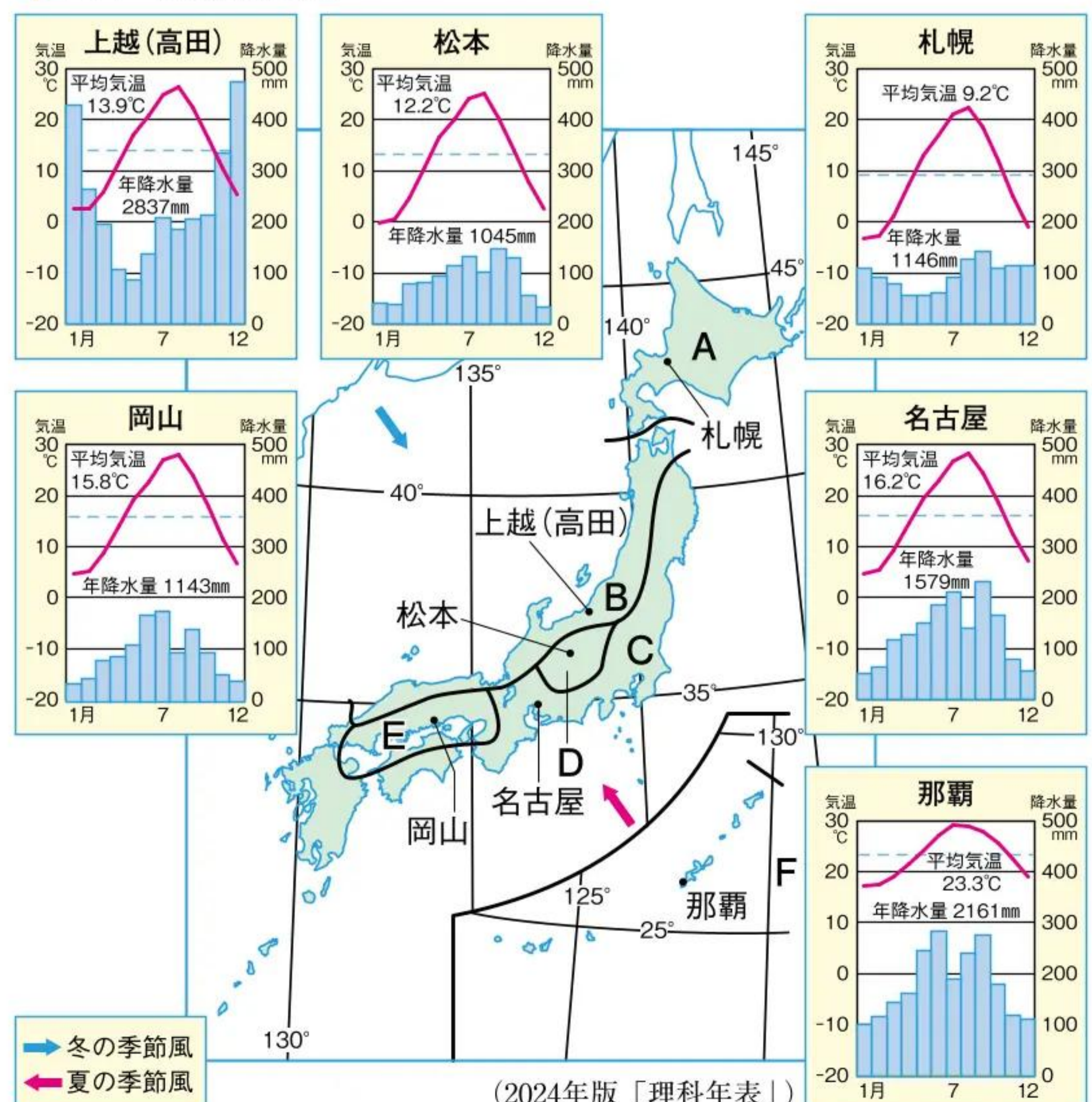
3 日本の気候の特色

(1) **特色**…本州・九州・四国が主に**温帯**、北海道が**亜寒帯**（**冷帯**）に属し、**四季**の変化がはっきりしている→**季節風**の影響。**梅雨**、**台風**、冬の雪によって降水量が多い。

(2) 気候区分

- A **北海道の気候**…冬の寒さが厳しい。
- B **日本海側の気候**…冬に雪が多い。
- C **太平洋側の気候**…夏に雨が多い。
- D **内陸の気候**…1年を通して降水量が少なく、夏と冬、昼と夜の気温差が大きい。
- E **瀬戸内の気候**…季節風が山地にさえぎられ、一年中温暖で降水量が少ない。
- F **南西諸島の気候**…冬でも温暖で雨が多い。

◆日本の気候区分



4 日本の自然災害

(1) 地震と火山

- ① **地震**…大きな地震がおこると、揺れによる建物の倒壊、地すべり、**液状化**の現象などが発生。地震で海底の地形が変化した場合には**津波**が発生することもある→2011年の東北地方太平洋沖地震（**東日本大震災**）では沿岸部が大きな被害を受けた。
 - ② **火山**…噴火による火山灰や溶岩の噴出、**火砕流**の発生による被害。
- (2) **気象災害**…集中豪雨や局地的大雨による**洪水**や**土石流**、台風による強風や**高潮**、雨が十分に降らない年の水不足。東北地方では**やませ**の影響による夏の低温で**冷害**。雪が多い地域では大雪が被害をもたらす。

5 自然災害への備え

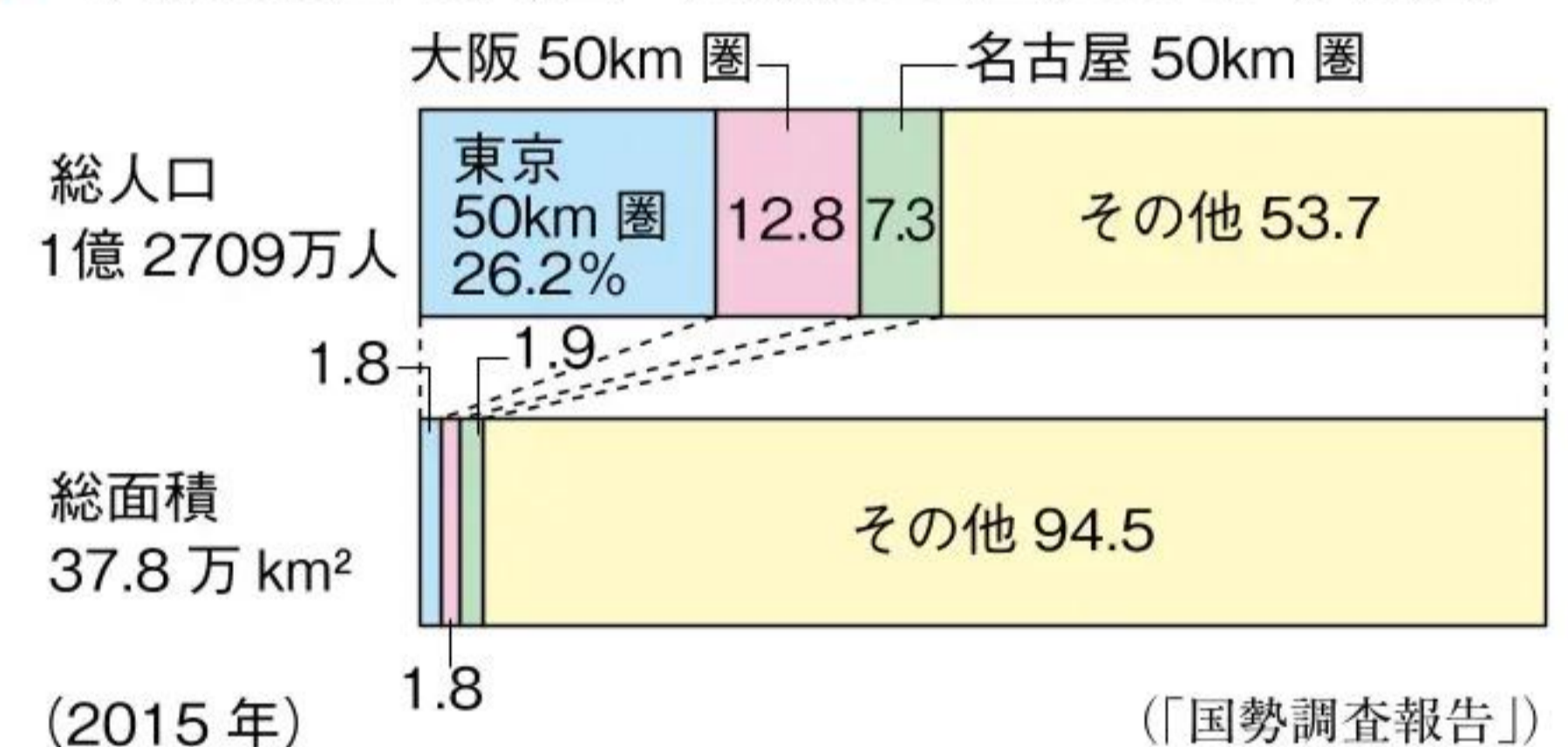
- (1) **災害に備える工夫**…自然災害が及ぶことを防ぐ**防災**や、被害をできるだけ少なくする**減災**のためのさまざまな取り組みが進められている。
- ① **地震への備え**…東日本大震災が発生し、また、**南海トラフ**の巨大地震が近い将来におこることが予測されている→建物や橋の耐震強化、**津波**を防ぐ堤防の造成などが進められている。
 - ② **気象災害への備え**…ダムや河川の堤防の建設、危険地域の指定など。
- (2) **災害発生への対応**
- ① **公助**…国や都道府県、市区町村などが被災者の救助や支援を行う。また、多くの都道府県、市区町村は、災害への備えとして**ハザードマップ**を作成している。
 - ② **自助・共助**…災害発生時には、公助にたよるだけでなく、自分自身や家族を守る自助や、住民どうしが協力して助け合う共助も求められる。

6 日本の人口の特色

- (1) **総人口**…約1億2593万人（2022年）で、日本は世界でも有数の人口が多い国である。
- (2) **分布**…国土の3割に満たない平野や盆地に人口の大部分が分布している。

- ① **都市への集中**…**高度経済成長期**に農村から都市に人口が移動→東京・大阪・名古屋を中心とする**三大都市圏**や**政令指定都市**に人口が集中している。

◆三大都市圏の人口・面積が全国に占める割合



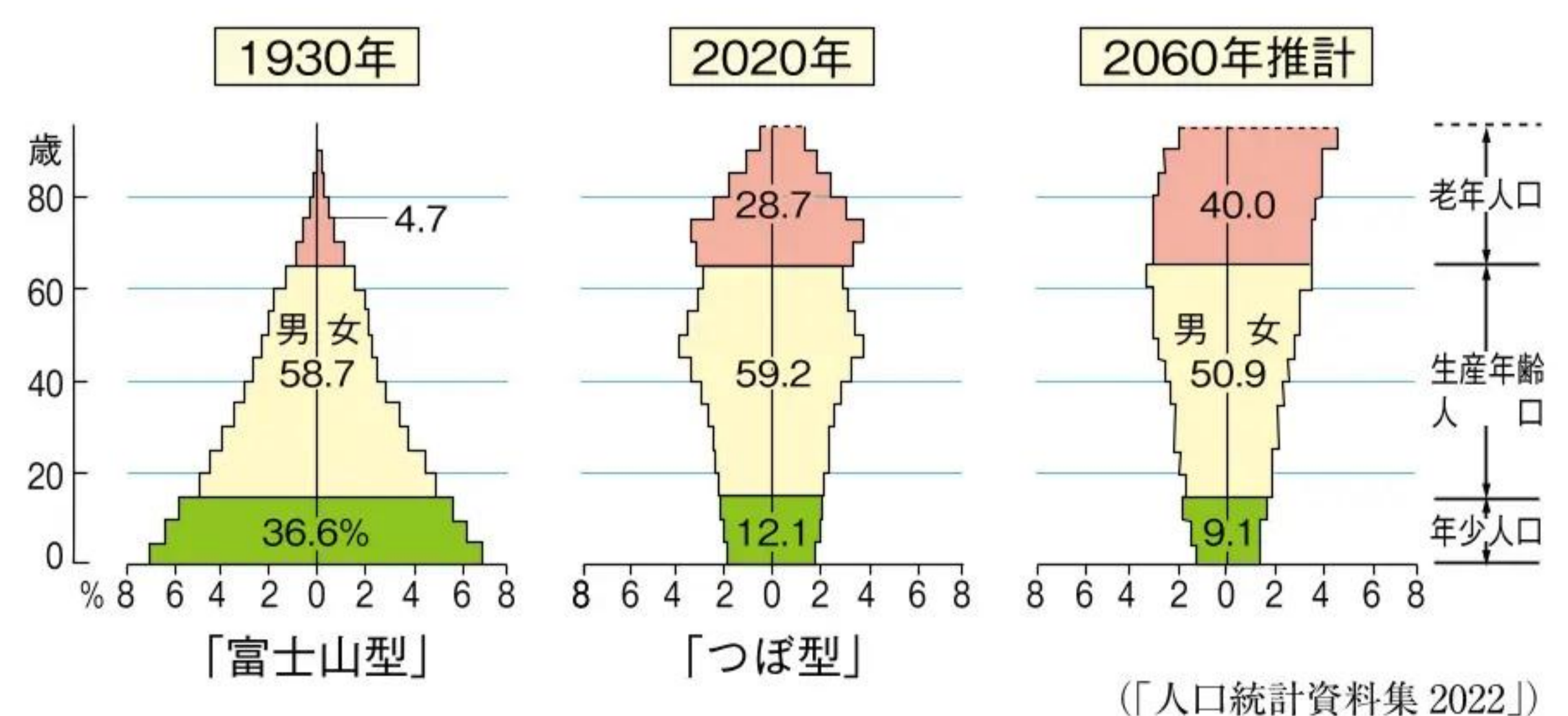
- ② **過密**…人口が集中した都市部では住宅不足、交通渋滞、ごみ処理などの問題が深刻化し、地価も上昇。**ニュータウン**などの住宅地が造成された都市周辺部の人口が増加。

- ③ **過疎**…人口が都市部へ流出した農村や山間部、離島では、学校や病院、商店や公共交通機関がなくなるなど、地域社会の維持が困難になったところが多くなっている。

(3) 少子高齢化

- ① **年齢別の人口**…15歳未満の人口を**年少人口**、15～64歳の人口を**生産年齢人口**、65歳以上の人口を**老年人口**という。

◆日本の人口ピラミッドの変化



- ② **人口構成の変化**…**出生率**が低下して**少子化**が進行すると同時に、医療技術の進歩などによって**高齢化**が急速に進む→**少子高齢化**が進んだ日本では、2010年ごろから人口の減少が始まっている。

- ③ **人口ピラミッド**…人口構成を表したグラフ。出生率と死亡率が、ともに高い「**富士山型**」、ともに低い「**つりがね型**」と「**つぼ型**」（年少人口が「つりがね型」に比べて少ない）などに分けられる。